

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年06月30日

計画の名称	横須賀市防災子ども安全まちづくり事業												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成32年度 (4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	横須賀市												
計画の目標	久里浜地区において、津波災害等から住民の生命・財産を守るため、都市公園（くりはま花の国）に津波避難路として避難階段を設置するとともに、避難所に指定されている同地区小学校の周辺の通学路等（通学路及び小学校周辺の生活道路）において交差点のカラー化や通学路の合同点検等を行うなど、子どもの通学路等の安全対策を併せて実施することにより、防災性と子どもの安全性を総合的に向上させる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	132	A	127	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	3.78	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	久里浜地区沿岸部における津波避難可能エリアカバー率向上を目指す。 津波避難路整備により久里浜地区沿岸部の常時避難可能エリアカバー率が向上する。	0%	%	63%
2	久里浜地区小学校周辺の通学路等において、交差点カラー化等を推進し、安全確保率の向上を目指す。 久里浜地区小学校周辺の通学路等における安全の確保率の向上。	83%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	横須賀市	直接	横須賀市	-	-	都市防災総合推進事業(久里浜地区)	避難路整備(津波避難階段設置)	横須賀市							127		-	
												小計							127		
												合計							127		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	横須賀市	直接	横須賀市	-	-	歩行者安全対策事業	交差点カラー化、路側帯カラー化	横須賀市						3	-		
		公共施設周辺の交差点のカラー化及び歩道のない生活道路の路側帯カラー化により、自動車運転者に歩行者注意と減速を促す視覚的効果が得られ、安全性の向上が期待される。																		
	C13-002	都市防災	一般	横須賀市	直接	横須賀市	-	-	通学路合同点検事業	通学路の合同点検	横須賀市						1	-		
		通学路表示板を掲示することで、交通事故防止について運転者に注意喚起するとともに、地域住民等にも通学路を周知して通学路安全対策に対する参加意識を高め、交通事故を抑止する。																		
	C13-003	都市防災	一般	横須賀市	直接	横須賀市	-	-	スクール・ゾーン電柱巻標識設置事業	スクール・ゾーンの電柱巻標識の設置	横須賀市						1	-		
		スクール・ゾーンにおいて電柱巻標識を設置することにより、交通事故防止について運転者に注意喚起することで、通学路の安全性が確保される。																		
											小計						5			
											合計						5			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 策定主体にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和4年6月
	公表の方法 横須賀市ホームページにて掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	久里浜地区において、津波災害等から住民の生命・財産を守るため、都市公園（くりはま花の国）に津波避難路として避難階段を設置するとともに、避難所に指定されている同地区小学校の周辺の通学路等（通学路及び小学校周辺の生活道路）において交差点のカラー化や通学路の合同点検等を行うなど、子どもの通学路等の安全対策を併せて実施することにより、防災性と子どもの安全性が総合的に向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	整備された避難路は、くりはま花の国アーチェリー場から高台のハーブ園までのルートであり、避難路入口部には、避難路と分かるように、看板を設置し、既設のアーチェリー場の出入口とは分けて、24時間通行可能な新たな出入口を設けた。
特記事項（今後の方針等）	
今回、津波からの避難について、久里浜地区沿岸部における高台に近い特性を活かして、「くりはま花の国」への避難階段を新たに整備し、避難可能地域の拡充を行った。今後も、津波到達まで時間的余裕がない場合や地形的に高台が存在しない地域が存在することから、緊急避難対策として、高層マンションや民間施設などを津波一時避難施設として利用ができるように協力の要請を検討するなど、地域住民と行政が協働して地域の安全性の向上を図っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	津波避難路整備による久里浜地区沿岸部の常時避難可能エリアカバー率	
	最終目標値	63%
2	久里浜地区小学校周辺の通学路等における安全確保率	
	最終目標値	100%